あおぞら

No.22
発行日：H27. 4. 1.





長崎旅行　ハウステンボスにて

『共にあゆむ』



新施設長　押田千晴

この度、４月１日をもちまして三上幸治前施設長の後任としまして、社会福祉法人つばさいすみあかね園の施設長に就任する事になりました。

いすみあかね園に入社して以来、無我夢中で日々利用者と共に過ごしてきました。このような大役を頂くことになり、『自分には無理』という言葉しか頭に浮かびませんでした。今でもまだ、迷い・不安だらけの毎日ですが、「いつでも前向きに、常にポジティブに！」腹をくくり、自分なりに頑張っていこうと思いました。

歴代の施設長の築いてきた事を大切に守りながら、また新しい風を吹かせられるように、まだまだ未熟で微力ではありますが誠心誠意努力していく所存ですので、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年12月に、衆議院選挙が行われ、同時に消費税10％への増税は１年半延期とされた。この増税は社会保障費に充てるとされていた為、この間の増税分の財源が見込めなくなり社会福祉関係への環境は一層厳しくなると考えられる。こうした背景から、現在社会福祉法人の改革が叫ばれているのかと考えられます。社会福祉法人は、営利法人と違い利益を求めるものではなく、公共性が求められるものである為、介護報酬等が削減され企業採算が悪化しても、事業を止めるわけにはいきません。当法人は平成19年に創設し、本年で９年目を迎え、いすみあかね園に於いては22年を迎えます。今後、社会福祉事業を取り巻く環境は、一層厳しい時代となっていきますが、社会福祉の現場では支援員等の人材確保、日中活動支援の充実を行い、質の高い安全で安心なサービスの提供が求められていくでしょう。また、スプリンクラーの設置の義務化や施設の老朽化など計画的に実施して行かなければなりません。現行制度では、日割となっていて、利用率が施設の収入と直結している為、利用者のニーズにこたえ質の良いサービスの提供を心がけ、真に施設サービスを必要とする本人、家族を受け入れて行く事を考えて行かなければなりません。毎日施設に通ってもらい、利用率の向上に努めなければならないのです。報酬改定や補助金の減額に左右されず安定した事業運営基盤を築くには、現状厳しいものもありますが、つばさ後援会・保護者会・地域の方々の協力にて毎年開催される「チャリティ歌謡ショー」「バザー」等での寄付は、事業運営において大いに役立てさせていただいております。改めて感謝申し上げます。

最後になりますが、今後も地域の障がい者の安定・安心した生活と自立を支援していく為にご支援・ご協力をお願い申し上げます。

利用者とのふれあい

利用者との生活

古内支援員

あかね園の利用者さんと過ごし、まもなく１年が経ちます。日々の生活や作業、一つ一つの行事にしても、皆さんに教えて頂くことばかりで、なんとかついていくのにやっとでした。私は園芸班の利用者さんと行動することが多く、ハードな作業を一緒に行っているなかにも職員のことを気にかけ心配してくれる皆さんの優しさや思いやりの気持ちには毎日が感謝の思いでいっぱいです。行事の計画や準備も先輩職員の指導のもと利用者さんに楽しんでもらえるよう努めてきましたが、ふりかえってみるとこの一年満足に取り組めた行事はありません。ですが「ありがとう」「楽しかった」と声をかけてもらい本当に励まされてきました。今後は利用者の気持ちを励みにあかね園を一緒につくっていきたいと思います。

玉置支援員

私は高校を卒業してすぐにこちらで支援員として働かせていただき、早くも２年目に入ります。当初はうまく利用者さんと接することができるのか、様々な面で不安がたくさんありました。人見知りで消極的であった私に利用者さんは、笑顔を向けてくれました。その笑顔がきっかけで利用者さんとのコミュニケーションがとれてきたように思います。笑顔でいるというのがとても大切な事だと利用者さんから教わりました。一緒に散歩に行った時には、共に季節を感じたり、コミュニケーションをとっていくことで新たな発見があったり、日々がとても嬉しく感じます。まだまだ未熟な私ですが利用者さん全員が笑顔で元気に生活ができるよう努力していきたいと思います。

楽しかった九州旅行　利用者Ｔ・Ｏさん

ぼくが、りょこうでいちばんたのしかったことは、ひこうきです。ぼくはのりものがだいすきです。おおきいふねにのりました。とてもおおきくて、びっくりしました。ハウステンボスにいっておはなをみました。きれいなはなが、たくさんさいていました。また、みんなとりょこうにいきたいです。おかあさんにカステラをかいました。とてもよろこんでいました。



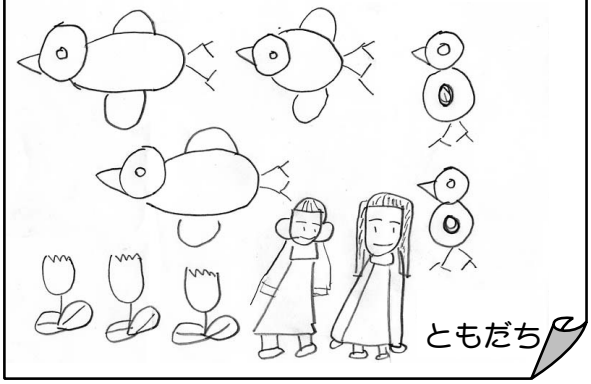
平成27年度 園行事

5月　1泊2日旅行
8月　納涼夏まつり
9月　チャリティ歌謡ショー
10月　バザー
12月　クリスマス会
1月　成人式

バザーのお礼

26年10月17日（土）天気にも恵まれ、多くの方々においで頂き盛大に行う事が出来ました。**531,231**円の収益がありました。利用者のために使わせて頂きます。ありがとうございました。

利用者Ｙ・Ａさん



あかね園に通所して

保護者Ｉさん

「‘働く生活介護’、それがいいよねぇ！」知人にあかね園の話をしたら、そんな言葉が返ってきました。生活介護といえば一日ひなたぼっこや散歩、そんなのんびりした施設もありますが、息子にはもの足りないと感じていました。かといって就労型の施設はハードルが高く、外で野菜の収穫やら草取り等をさせてくれるあかね園は理想の施設で、本当にいいところに出会えたと思います。自然に囲まれた敷地も広大ながら、時には外にも出向き、ドライブ好きの息子はきっと満足でしょう。息子の‘楽しみ’の大部分を占める食事も、出来合いのお弁当ではなく温かい給食なので、いつもその時間を楽しみにしているにちがいありません。毎日にこにこと、元気に登園しています。この笑顔がずっと続くことを願っています。



新入生の歓迎バーベキュー大会

成人おめでとう



成人式のお祝い

保護者Ｋさん

１月10日あかね園で、成人のお祝いをしていただきありがとうございました。利用者の皆さん、職員の方々に、祝っていただきとてもうれしかったです。親として成人式を迎えたことは、うれしい気持ちと大人としての第一歩が始まったことへの不安の気持ちで一杯です。これからは少しずつですが、不安な気持ちが減るように親子で頑張っていきたいです。

ありがとうございました

長年「保護者会会長」として貢献して下さった「蓮池敏彦様」が都合により退任されました。21年という長い間あかね園保護者会活動に骨身を惜しまず、ご尽力頂きました。ありがとうございました。新保護者会会長に「小倉進様」が選任されました。よろしくお願い致します。

平成26年度　施設整備助成事業

千葉県共同募金会様より、いすみあかね園に屋形テント２張の購入に際して助成を頂きました。

当年度は利用者５名の入所等もあり、施設内外で開催する恒例の行事やイベントでテントが不足しておりましたが、皆様方の暖かいご支援・ご協力によりテントを整備する事ができました。

今後はいままで以上に多くの地域の方々を招き楽しい行事等を企画して参ります。また、永く使用できるよう大切にしていきます。利用者と共に心より感謝申し上げます。

“ありがとうございました。”

新しいテントで「ハイ笑顔」



「平成26年度NHK歳末たすけあい」助成事業

整備費総額	234,792円
助成金額	176,000円
施設負担額	58,792円

決 算 報 告

平成26年度会計を下記のとおり報告させて頂きます。会員も現在では減少し、後援会の運営も大変苦しくなっております。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	215,886	通信費	25,955
会員会費	525,000	歌謡ショー	1,853,835
(個人114名、法人16社)		法人への寄付	2,000,000
歌謡ショー	3,391,500	次年度繰越金	260,691
募金	5,000		
寄付	3,000		
利息	95		
合　計	4,140,481	合　計	4,140,481

平成27年度 つばさ後援会事業計画

4月　「あおぞら」発行
4月～9月　チャリティショー準備
4月～12月　会員継続及び増強
9月20日　チャリティ歌謡ショー

社会福祉法人つばさ「つばさ後援会」
いすみあかね園

チャリティ歌謡ショー

秋元順子



大沢 あすか



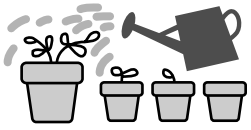
H27. 9. 20(日)
夷隅文化会館にて

全自由席　3,500円

1部　開演　PM 1:30
2部　開演　PM 6:00

「つばさ後援会」へのご入会をお願いします

個人会員（年間一口3千円）
法人会員（年間一口1万円）
入会申し込み、お問い合わせは事務局まで
TEL. 0470－66－0600
FAX. 0470－66－1878



編 集 後 記

厳しい寒さも過ぎ、園のふきのとうも花が咲き、桜も咲き始めようやく春も訪れてきました。今回は利用者との園での生活、ふれあいをテーマとしてみました。皆、生き生きと生活しています。今後共、つばさ後援会へのご支援、お力添えをよろしくお願い申し上げます。

発行所：いすみあかね園　つばさ後援会
住所　いすみ市山田5901
TEL.0470-66-0600
FAX.0470-66-1878